

令和元年第12回

幸手市教育委員会定例会会議録

招 集 期 日	令和元年12月24日(火)午後3時00分					
開 会 場 所	幸手市役所第二庁舎 1階 第5会議室					
開会の日時・宣告者	令和元年12月24日(火)午後3時00分				山西 実	
閉会の日時・宣告者	令和元年12月24日(火)午後5時00分				山西 実	
出席 状況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	教 育 長	山 西 実	出席	教 育 委 員	齊 藤 一 夫	出席
	職務代理者	尾島 紗緒里	出席	教 育 委 員	会 田 研 司	出席
	教 育 委 員	満 木 信 吉	出席			
傍聴人：0人				書記：大竹 孝典・河口 奈緒		
議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教 育 部 長	杉 田 和 洋				
	総 務 課 長	長 田 広				
	指 導 課 長	堀 越 成 夫				
	社会教育課長	百 瀬 修				

会議事件名	顛末
<p>開 会 午後 3 時 00 分</p> <p>日程第 1 前回会議録の承認</p> <p>日程第 2 協議事項(台風 19 号 の対応状況と教育施設 の活用について)</p>	<p>教育長 開会を宣する。</p> <p>教育長 令和元年第 11 回教育委員会定例会の会議録の内容について質問を求める。 《質疑》 質疑なし。 《承認》 全員異議なく承認。</p> <p>総務課長 台風 19 号の対応状況と教育施設の活用について、資料等に基づき説明する。 《質疑》</p> <p>齊藤委員 幸手市は、河川の決壊が無かったことは幸いだったが、避難所の開設・運営等については様々な反省点があったと思う。今回の経験を次回に活かしていただきたい。</p> <p>総務課長 今回は、台風が去った後に、利根川の水位が想定以上に上昇し、深夜に発生したこともあって判断が難しかった。避難所の開設・運営等については、学校の利用頻度が高い地域の方との調整が、今一度必要ではないかと考えている。</p> <p>満木委員 利根川や江戸川が氾濫すると、何メートル浸水するのか。</p> <p>教育部長 ハザードマップでは、氾濫した場合の到達水位を地図上に示しており、2メートルから5メートル、5メートルから10メートルのように幅があるところである。</p> <p>満木委員 利根川の最大水位は、どこまで来ていたのか。</p> <p>総務課長 計画高水位の 9.9 メートルまで残り 30 センチメートルを</p>

切る状況だった。

満木委員

学校などの避難所へ避難した後のことが心配である。

齊藤委員

佐野市では校庭に避難した人達の車が、100台近く浸水したとの話を聞いた。

総務課長

東日本大震災の時には、市民の方に車での移動を控えるようお願いしていたが、実際は車で移動する方が多かった。

会田委員

地域によっては、車でないと避難所まで移動できない所もある。

総務課長

今回の台風では、避難所の開設まではできたが、職員で運営するためには1日以上経過しないと動員が難しい状況だった。

齊藤委員

避難所の開設・運営等には、やはり地域の人達も係わらないと難しいと思う。

教育部長

避難情報の伝達経路や避難所の開設・運営等の共助については、担当課でも確認している部分なので、今後、これらの点を踏まえて計画が練り直されると思う。

ちなみに防災計画の中で、教育部の初動の役割は、避難所の開設が位置付けられている。

総務課長

今回は管理職以上の職員を招集した段階で避難所を開設することになったため、管理職の職員が対応したが、河川が決壊して数日間、避難所を運営しなければならなくなった場合は、教育部が対応することになる。ただし、現実的には教育部の職員だけで管理・運営することは不可能な状況である。

会田委員

今回は避難所の開設だけで済んだが、運営の可能性も含めた職員の招集計画を立てないといけないと思う。

教育部長

雨は地震と違って、降雨の日時や地域、雨量の予想ができ

るので、ある程度想定できる段階で避難所となる施設との連携を図り、いつでも動ける体制を取っておく必要がある。そこに不足している部分を補うためにも、再度、計画の練り直しが必要だと認識している。

会田委員

計画の練り直しの時間はそれほど無いと思う。今回は台風の影響による被害だったが、台風以外の大雨で被害が出てしまった地方もあったので、危機管理防災課だけでなく、市全体として見直しや対応策を検討しなければならないと思う。

総務課長

今回の事案を踏まえて再検討することになると思うが、現状では水害発生時の避難所開設は水害対策班になると思う。避難所開設のあり方については、冠水により開設できない地域もあるので、地域の方も交えて検討しないといけないと考えている。

会田委員

確認だが、避難所の開設を担うのは、水害対策班なのか。それとも教育部の職員なのか。

教育部長

計画上では、教育部が避難所の開設に位置付けられているが、この計画は水害を想定した避難所開設になっていないと思う。この点も踏まえて計画の見直しが必要になってくると思われる。

総務課長

大雨洪水警報が発令されたら全職員が出動する体制となれば、教育部の職員が避難所の開設に当たることができるが、水害対策は、雨や冠水の状況を刻々と見ながら増員をかけているので、水害対策班の次に管理職が招集され、最終的に全職員という流れになる。

教育部長

いずれにしても避難所は、学校や社会教育施設を利用することになるので、現場の混乱を考えると教育部が係わらなければならないと思う。

尾島職務代理者

市では毎年、各小学校を持ち回りで防災訓練を実施しているが、自治会レベルでも、水害や地震など様々な事案を想定した防災訓練を実施していくことも必要ではないか

<p>日程第 3 議 事 専決報告第 35 号 幸手市教育委員会教育 長の専決処理に対する 報告について</p> <p>日程第 4 行政報告 1 教育長報告</p> <p>2 事務局からの 主要な報告</p>	<p>と感じた。 総務課長 自治会を主体とした自主防災組織を立ち上げて、地域で 防災訓練を実施したり、防災講話に市の職員の派遣をお 願いしているところもある。</p> <p>指導課長 議案書により説明する。 《質疑》質疑無し</p> <p>教育長 1 各種教育長会議等 2 令和元年度第 4 回幸手市議会定例会関係 3 人事異動に係る校長ヒヤリング 4 講演等 について資料により説明する。</p> <p>教育部長 令和元年第 4 回幸手市議会定例会一般質問（教育委員会 部分）について</p> <p>総務課長 1 インフルエンザ様疾患等による学級閉鎖等状況 (11/13～12/13)</p> <p>指導課長 1 平成 31 年度埼玉県公立小・中学校管理職選考結果に ついて 2 幸手市立小・中学校 学校評価について 3 幸手市統一学力テストについて 4 学力・学習状況等調査等の実施について 5 令和 2 年度当初教職員人事事務の予定 6 今後の行事予定</p>
--	--

	<p>指導課長（吉田幼稚園）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 今後の行事予定 <p>社会教育課長</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 彩の国教育の日 第 59 回幸手市文化祭参加者数について 2 令和元年度幸手市還暦式～3回目の成人式～ 3 人権教育研修会「人権作文発表会」 4 第17回幸手市ランチタイムコンサート 5 冬休み体験教室 ブラインドサッカー教室（子どもセンター事業） 6 令和2年幸手市成人式 <p>社会教育課長（公民館）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 七草がゆを食べる会 2 そば打ち講座 3 ふれあいサロン 4 公民館クラブ連絡協議会第6回常任理事会 5 フランス刺繍講座 6 健康体操講座 7 初心者ヨガ講座 8 子ども料理教室（集会所事業） 9 11月の利用状況 <p>社会教育課長（郷土資料館）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 報告事項 2 今後の事業予定 <p>社会教育課長（図書館）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 報告事項 2 利用状況 3 今後の事業予定 4 予約の多い図書（上位5冊） 5 購入図書リスト <p>社会教育課長（体育施設）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 利用状況 2 今後の主な行事予定について資料により説明する。 <p>《質疑》</p> <p>会田委員</p> <p>令和元年第4回幸手市議会定例会で、教育に係る市長公約について一般質問があったが、どのような答弁があっ</p>
--	---

たか伺う。

教育部長

市長からは、幸手市の子供達が将来、社会に出たときに、自律的でかつ社会に貢献できる人を幸手市から育てていきたい、その一つの指標として県内学力トップという公約を掲げたが、具体的な施策は今後、教育長を中心に話を進めていく中で取り組んでいきたいとの答弁があった。

会田委員

幸手市が平成 30 年度から独自に実施している「幸手市統一学力調査」について、もう少し詳しく伺いたい。

指導課長

幸手市では、ベネッセコーポレーションの統一学力調査を活用し、小学校では 1 年生から 6 年生までを対象に国語と算数を、中学校では 1・2 年生を対象に国語、数学、英語について実施している。1 教科当たりの調査時間は、小学校では 40 分、中学校では 50 分で実施しており、1 教科 1 枚当たり 360 円の費用が発生している。

調査結果はベネッセコーポレーションで分析された後、児童・生徒個人が苦手な部分を教科毎に抽出して、各個人の課題にあったプリントをダウンロードできる仕組みとなっている。

会田委員

これだけの取組を市の予算で実施できるということは、大変素晴らしいことだと思う。

満木委員

木村治夫議員から一般質問があった「時代の変化に対応した教育の充実について」の答弁の 1 点目として、「外国語教育の充実」について回答されているが、これについて、私の意見を述べさせていただく。

英語には、読む・聞くといったインプット力と、話す・書くといったアウトプット力の 4 つの技能が必要であるが、私が読んだ様々な書籍等では、まずは高度なインプット力を身に付けてからアウトプット力を身に付けなさいと記されている。アウトプット力に重点を置くのではなく、まずはインプット力を身に付けることに重点を置いていただきたい。

また、これは提案だが、市内中学校の英語教員のうち、英検準 1 級以上、またはそれと同等以上の能力を持つ教員

が何名いるのかお示しいただくとともに、県平均と比較して-7.6 ポイント差をプラスに転じるために英語教員が、どういう手立てを考えているのかを提案していただきたい。

教育長

これについては、早急に協議しなければならない課題となっていたが、改めて各学校の取組を精査しながら今後の具体的な手立てを明確にしていく必要があると思う。

満木委員

2016年に文部科学省が示した基準では、英検準1級程度の能力を有する英語の専任教員の割合が、中学校では50%、高等学校では75%としているが、調査によると中学校が25%、高等学校では50%という結果だった。幸手市においてはどうなのかを知りたい。

指導課長

教員が有する資格について今後、県から調査が入る予定なので、結果がまとまれば報告することは可能かと思う。小学校では来年度から外国語が教科として本格実施となることから、小・中連携も含めて来年1月に小学校の教員が、中学校1年生の授業を視察し、東部教育事務所の指導主事にもご参加いただきながらご指導いただく予定となっている。

満木委員

2020年度開始の大学入学共通テストで、英語民間試験を導入し、読む・聞く・書く・話すの4技能について試験するとの話があったが、スピーキングの採点方法や経済格差の問題など、様々な課題が浮き彫りとなり、全国校長会からの反対意見書の提出等もあって、取り消しとなった。今回の件でもそうだが、やはり私は、現場の人が理念を掲げてシステムを作っていくべきだと思う。幸手市の英語教育についても、現場の教員自身が指針を作り上げないと、間違った方向に行ってしまうのではないかと。

教育長

厳しく受け止めたい。

教育部長

少し話を戻して申し訳ないが、市長の公約に「公立幼稚園の見直し」が掲げられているが、市長の思いは、公として

の幼児教育の必要性を感じているが、吉田幼稚園の廃園を取り消すということではなく、今後も公として幼児教育ができるよう方策を検討していくという答弁があった。なお、方策としては、幼・小一貫教育や認定こども園といった形で保育と幼児教育を行う方法など、様々な可能性を含めて検討したいという話があった。

尾島職務代理者

10月下旬から11月上旬にかけて図書館本館及び香日向分館で開催された「図書館クイズラリー」でプレゼントの配布があったとの報告があったが、以前は職員が折った折り紙だったと思うが、今年は何だったのか。

社会教育課長

確認したい。

満木委員

教育分野に関する一般質問が増えてきている気がする。教育に関心を持つ議員が増えているのではないかと思うが、教育長はどのように感じているか。

教育長

教育は永遠に課題があると言われており、質問しやすいという点もあるかと思うが、多くの議員の方が関心を持たれて様々な側面からご質問をいただいていると感じている。木村治夫議員からは、教育委員会の現在の取組や今後の展望を含めて、具体的に答弁してほしいとのご要望もいただいていたことから、具体的な数値も含めて答弁したところである。

満木委員

英語検定の受講料に対する補助の予算化など、予算が必要となる事業は、議員に対して丁寧に説明し、必要性を主張していただきたいと思う。そういう点では、ご質問いただけるということは良い傾向だと思う。

教育長

今までは、予算的な保証が無い事業等については、答弁を控えていたが、今回は議員からのご要望もあり、今後の方針と課題を含めて答弁したところである。幸手市の教育に理解をいただき、現状をPRする観点からご質問をいただいている面もある。

齊藤委員

3点質問とお願いがある。

<p>日程第5 その他 1 次回会議の日程</p>	<p>1点目は、昨年度の幸手市子ども議会で『幸手市「スマートフォン」わたしたちの行動宣言』が採択され、様々な取組がなされたと思うが、その後の状況について伺う。</p> <p>2点目は、以前から何度か伺っている権現堂川小学校近くの交差点に隣接する粗大ゴミ置場の件で、その後、鉄パイプが組まれて冷蔵庫が倒れないよう一定の措置はされているが、引き続き業者に指導をお願いしたい。</p> <p>3点目は、その向かいにコンテナ車が何台も停まっている敷地があるが、ヒアリは大丈夫なのか伺う。</p> <p>指導課長</p> <p>1点目のスマートフォンの取組については、毎月11日を「家族と考えるスマホの日」と定め、スマートフォンの使い方について子どもと保護者が話し合いをするよう継続して実施している。各家庭の取組状況については、11月末に調査をかけているので、近日中には各学校から報告があがってくるかと思う。</p> <p>また、本日の新聞記事に、子供達の体力低下の原因の一つとして、スマートフォンやゲームの利用時間が増えたからではないかとのスポーツ庁の考察が掲載されていたので、各学校にも通知するとともに、SNSを利用した誘拐事件も発生しているので、併せて指導していきたい。</p> <p>教育長</p> <p>SNSを利用した犯罪については、臨時の校長会を開催して、子供達の宣言等が形だけになっていないか改めて各学校で点検するよう指導したところである。</p> <p>教育部長</p> <p>2点目の粗大ゴミ置場の件は、今議会でも一般質問があり、複数回の指導により一定の改善は見られたが、違反の状況は改善されていないため、引き続き指導していくとの答弁があった。</p> <p>3点目のヒアリの件については、特に近隣からの報告はあがっていないところである。</p> <p>各委員の意見を調整した結果、次回の会議については、次のとおり決定する。</p> <p>(1)令和元年度 第1回総合教育会議</p>
--	--

<p>2 今年度の会議 日程</p> <p>閉 会 午後5時00分</p>	<p>日時 令和2年1月14日(火) 午前9時00分 会場 幸手市役所第二庁舎 2階 第2会議室</p> <p>(2)令和2年 第1回教育委員会定例会 日時 令和2年1月14日(火) 午前10時00分 会場 幸手市役所第二庁舎 2階 第2会議室</p> <p>各委員の意見を調整した結果、今年度の会議については、次のとおり決定する。</p> <p>(1)令和2年 第2回教育委員会定例会 日時 令和2年2月12日(水) 午前9時30分 会場 幸手中学校 2階 会議室</p> <p>(2)令和2年 第3回教育委員会定例会 日時 令和2年3月17日(火) 午前9時30分 会場 幸手市立郷土資料館 1階 会議室</p> <p>教育長 閉会を宣す。</p>
---	--

ほか特に重要 と認める事項	なし
	<p>上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和2年 1月14日</p> <p>教 育 長 山 西 実</p> <p>署名</p> <p>署 名 委 員 尾 島 紗 緒 里</p>